

# 宝暦・天明期の文化—美術

浮世絵師鈴木春信が生み出した錦絵は、たちまちのうちに浮世絵会を席卷した。そして、18世紀末に喜多川歌麿・東洲斎写楽らによる黄金時代を現出させた。また版画以外では、洋風画の確立があった。司馬江漢はオランダ語を自ら読みえなかったが、蘭学者たちを通じて洋画の技術などを学び、銅版画を創始するに至った。

## ○ 絵画

### ● 浮世絵

17世紀末、安房出身の<sup>(1)</sup> \_\_\_\_\_ は、庶民的風俗画浮世絵とその版画<sup>(2)</sup> を創始した。

⇒そして、小説の挿絵<sup>(3)</sup> という従属的位置にあった版画を、それ自体鑑賞に耐える、一枚刷り（一枚絵）という独立した画面に昇華させた。



18世紀半ば、<sup>(2)</sup> \_\_\_\_\_ は一枚刷りの多色刷浮世絵版画<sup>(3)</sup> \_\_\_\_\_ を創始した。



浮世絵の版画の手法に、人物の上半身または顔面のみを描く<sup>(4)</sup> \_\_\_\_\_ があり、18世紀末～19世紀初めに全盛期を迎えた。



図1 『五常』「仁」

### < 代表的な浮世絵師と浮世絵 >

<sup>(5)</sup> \_\_\_\_\_ …浮世絵の黄金時代の先駆者で、代表作は『五常』

<sup>(6)</sup> \_\_\_\_\_ …18世紀末、美人画を描き、(4)の新様式を開いた人物  
…代表作は『婦女人相十品』の『ポップンを吹く女』

<sup>(7)</sup> \_\_\_\_\_ …18世紀末、役者絵・相撲絵を(4)で描いた人物  
…代表作は市川団十郎(5世)を題材にした『市川鰻蔵』



図2 『ポップンを吹く女』(左)



図3 『市川鰻蔵』(右)

### ● 写生画

<sup>(8)</sup> \_\_\_\_\_ は、洋画の遠近法を取り入れ、立体感のある写生画を描いた。

⇒(8)を祖とする一派の円山派は、写実的で正確な描写を特色とした。

### ● 文人画

文人・学者が明や清の画風に影響を受け、余技として<sup>(9)</sup> \_\_\_\_\_ を描いた。

### < 代表的な文人・学者と文人画 >

<sup>(10)</sup> \_\_\_\_\_ ・ <sup>(11)</sup> \_\_\_\_\_ …非職業画家であり、(9)を大成した人物たち  
…代表作は2人の合作『<sup>(12)</sup> \_\_\_\_\_』



図4 『十便十宜図』



図5 『西洋婦人図』

### ● 洋風画

油絵具や洋画の技法が伝わり、<sup>(13)</sup> \_\_\_\_\_ は『西洋婦人図』を描いた。

### < 代表的な画家と洋風画 >

<sup>(14)</sup> \_\_\_\_\_ …(13)に学び、<sup>(15)</sup> \_\_\_\_\_ を創始した人物  
…代表作は『不忍池図』

<sup>(16)</sup> \_\_\_\_\_ …(15)を発展させた人物で、代表作は『浅間山図屏風』

◇(15) …銅版に彫刻や薬品で絵画を刻み、印刷した版画



図6 『不忍池図』